

## 近くて頼りになる病院を目指しています



年未年始など長期に病院が休みになる場合や、最近では新たな感染症や地震・大雪など自然災害も多く、病院にすぐかかれない場合もあります。  
普段のんでいる薬は余裕を持って常備するようにしましょう！！



寒さも厳しくなりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。  
2023年も地域の皆様の健康をサポートするために、安心して受診できる病院をめざしています。  
健康に不安を感じたら、ご来院ください。2023年も平和病院をどうぞ宜しくお願い致します。

## 新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて



### 新型コロナ検査キットを常備しましょう

抗原検査キットは

**外箱に「体外診断用医薬品」「第1類医薬品」と書かれたもの**を使用しましょう

**【注意】「研究用」ではご自分で登録する「陽性者登録窓口」に登録することができません**

その他、常備しておくよいもの

**市販の解熱鎮痛薬** 常用している薬  
日持ちする食料(5~7日分)  
体温計 など



抗原検査キットで**陽性**が判明した時は…

- (1)65歳以上
  - (2)妊婦
  - (3)小学生以下のお子さま
  - (4)基礎疾患等の重症化リスク(\*)がある方
- \*重症化リスクについては特設サイトをご覧ください

当てはまる方

医療機関を受診  
当院受診の際は発熱外来の  
予約をお願いします

当てはまらない方

ご自分で陽性者登録ができます  
「陽性者登録」で検索！

特定健診・横浜市検診・がん検診が予約なしで受けられます



特定健康診査  
横浜市健康診査  
大腸がん検診  
肺がん検診  
前立腺がん検診  
肝炎ウイルス検診  
↓  
内科（月～土）

乳がん検診



乳腺外科  
（月～金の午前と  
月・水の午後）

子宮がん検診



婦人科  
（金曜午前のみ）

- \* 特定健康診査は受診券が当日必要です
- \* 胃がん検診は必ず予約が必要です
- \* 健診・検診の対象者については詳しくはホームページ等でご確認ください
- \* 大腸がん検診は後日便を持参して頂く必要があります

「もしも手帳」をご存じですか？



「もしも手帳」とは・・・

“もしも”のことを考えてみるのは大切な事です。

時には治らない「病気」や認知症などになり、自分で物事を伝えられなくなってしまう事があります。この手帳はそうなったときの治療やケアについてあなたが「どうして欲しいか」の気持ちを伝えるためのお手伝いをします。元気なうちから“もしも”の時のことを考えてみませんか？



① “もしも” 治らない病気などになり、自分の気持ちを伝えられなくなったら、どんな治療やケアを受けて過ごしたいですか？

- できるだけ長く生きるための治療を受けたい
- 痛みやつらさを軽減する治療やケアのみしてほしい
- すべての治療やケアを受けたくない
- わからない
- その他

② “もしも” 治療やケアについて、自分で決められなくなったら、代わりに誰に話し合ってもらいたいですか？（複数可）

- 配偶者（夫・妻）
- 子ども・孫
- きょうだい
- 親戚（姪・甥など）
- 友人・知人
- かかりつけ医
- その他
- 頼める人はいない

※ [ ] 内には名前や連絡先を書いてみてください。

③ “もしも” 治らない病気などになったら、どこで過ごしたいですか？（複数可）

- 自宅
- 病院
- 施設
- 今はわからない
- その他、自由に

氏名 \_\_\_\_\_

書いた日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

話し合った日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

話し合った人 \_\_\_\_\_

\* 横浜市内の地域ケアプラザ（地域包括支援センター）、区役所（高齢・障害支援課）、在宅医療連携拠点、一部の薬局や診療所などの医療機関で配布しています。当院では外来2階待合にあります。是非一度手に取ってご覧ください。



患者様にとって、いつも優しく、誠実であること  
医療法人 平和会 平和病院



045-581-2211



045-581-7651

